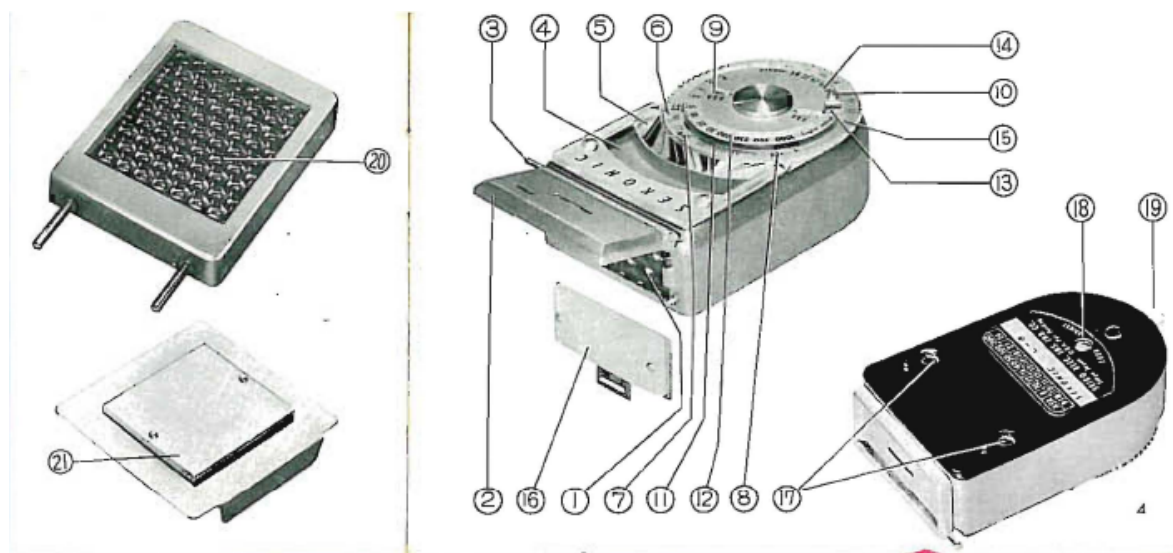




セコニック L-8 説明書

セコニック L-8 は、マルチフィルター開閉により、高照度と低照度が測定出来、その上アンプを差し込む事により暗い場合にも測定出来ます。



- | | | |
|--------------|----------------|------------------------|
| 1 受光部 | 8 赤印 | 15 シネ用絞り |
| 2 カバー | 9 フィルム感光度目盛 | 16 入射測定用アタッチメント(受光部取付) |
| 3 カバーオープンボタン | 10 つまみ | 17 アンプ差込口 |
| 4 指針 | 11 絞り目盛 | 18 ゼロ調整ネジ |
| 5 ガイドライン | 12 シャッタースピード目盛 | 19 ストラップ掛け |
| 6 黄印 | 13 ライトバリュー目盛 | 20 アンプ |
| 7 青印 | 14 シネカメラ駒数 | 21 入射用アタッチメント(アンプ取付) |

まず測定する前にお使いになるフィルムの感光度をつまみを廻して ASA に正しく合わせて下さい。受光部を撮影する位置から被写体に正しく向けますとその被写体の明るさに応じて指針が振れガイドラインを指示します。

●反射光式の場合

<マルチフィルターを閉じて測った場合>

指針の触れたガイドラインに赤印を合わせますと、自動的に絞りとシャッタースピードが組み合わされます。

<マルチフィルターを開いて測った場合>

指針の示したガイドラインに青印を合わせますと同じように絞りとシャッタースピードの組み合わせが得られます。

上記の内どれを選んでも正確な露出となりますが、被写体の状況によってどれか一つの組み合わせをとって下さい。

<アンプを使用した場合>

暗い場合には、アンプを差し込みます。その場合マルチフィルターは開いて測定しなければいけません。

黄印を指針の振れたガイドラインに合わせて下さい。露出の求め方は上の場合と同様です。



●入射光式の場合

①



②



左図のように入射用アタッチメントをつけて測定します。印の合わせ方は、①の場合は青印に、②の場合は黄印に合わせます。

LIGHT VALUE (L.V)

ライトバリューシステムのシャッター付カメラをお持ちの方はこのライトバリュー目盛で露出を決定して下さい。測定方法は普通と同じで求められたライトバリューをカメラにセットするだけです。

ASA100 のフィルムを使用して測定し、ライトバリュー目盛が 14 を示したときカメラのライトバリュー目盛も 14 にセットして下さい。

8mmシネ撮影

シネ撮影の場合の測定方法は、普通の場合と変わりませんが、シネカメラのシャッタースピードは普通のカメラと違って1秒間に回転速度 8.16.24.32.64 の駒数になっておりますから、ご使用になる撮影機の駒数に組み合わせられた絞りの値で撮影して下さい。